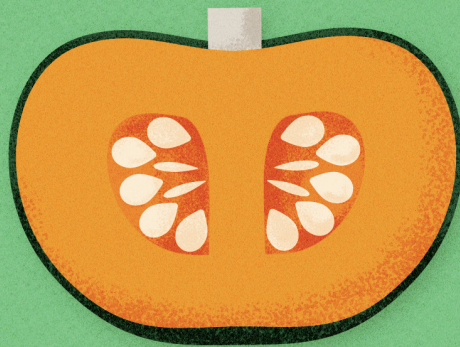
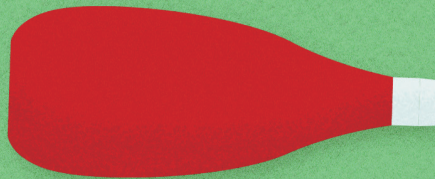
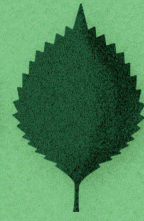
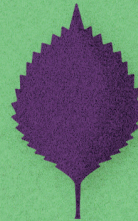
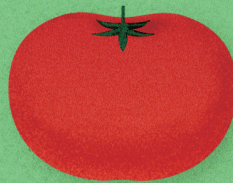
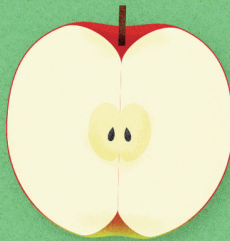
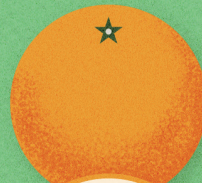
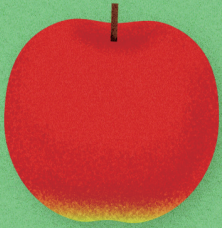


# 結いだより

投資先の「いい会社」紹介 畑と食卓をつなぎ、健康と笑顔をお届ける、いい会社

健康と笑顔をお届ける、いい会社

カゴメ株式会社



取材のひとつ  
「本気で混ぜる」  
前田工織株式会社

運用コラム  
中東情勢の緊迫化と  
「結い 2101」の運用

「結い 2101」運用報告会  
開催のご案内

※P8の注意事項を必ずご確認ください。

畑と食卓をつなぎ、健康と笑顔を届ける、いい会社

# カゴメ株式会社

今回は、2013年から投資を継続しているカゴメ株式会社(以下、カゴメ)をあらためて紹介します。

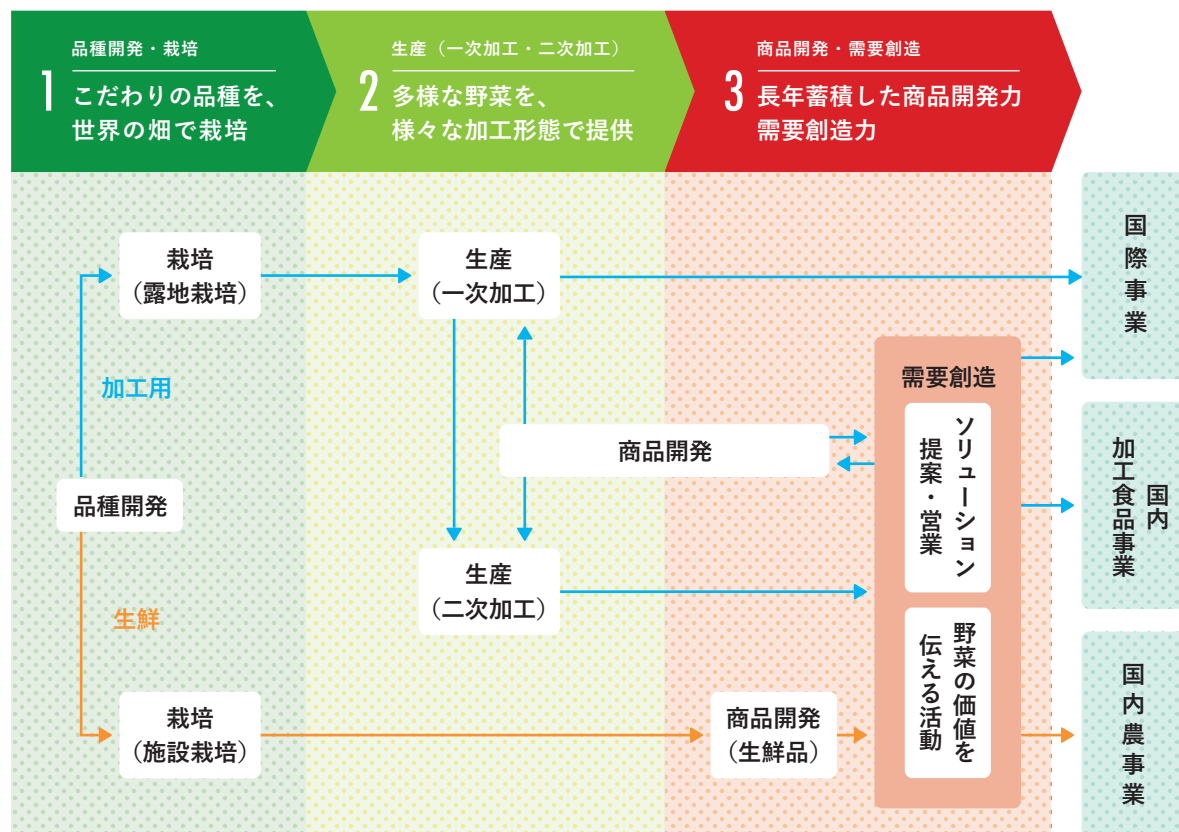
カゴメは、創業以来、「自然の恵みを尊び、人々においしさと健康、豊かな食生活を届ける」ことを企業の根幹に据えてきました。トマトや野菜の栽培から、野菜飲料やトマトケチャップなどの加工・製造、販売に至るまで幅広く事業を展開し、食を通じて持続可能な社会と人々の健康に貢献しています。



## 農から価値を形成するグローバルバリューチェーン

創業者の蟹江一太郎氏は、当時まだ珍しかった西洋野菜の栽培に挑戦しました。創業の1899年当時は、まだ青臭くて売れなかったトマトをどうすれば人々の食卓に価値あるものとして届けられるか。この問いが、加工や保存の技術開発を促し、やがてトマトソースやケチャップ、トマトジュースの誕生へとつながっていきました。

カゴメは、原料の安全性や品質、風味、栄養価を守りつつ、安定的・継続的に商品を消費者へ届けるために、「品種開発・栽培」「生産(加工)」「商品開発」に至る、農から価値を形成するグローバルバリューチェーンを確立しました。そこには、単なる工程の連続にとどまらず、自然と人、人と社会が寄り添い合うことを大切にしている同社の想いが息づいています。



出所：「カゴメ 統合報告書2025」を基に鎌倉投信作成

## 健康課題への貢献

かつてカゴメは、トマト製品を中心に販売してきました。しかし、時代とともに日本人の食生活や健康課題は変化し、野菜摂取量の不足は社会全体の課題となりました。カゴメはこの課題に真正面から向き合い、トマトだけではなく、多様な野菜の価値を生活に届ける会社へと進化してきました。

生鮮野菜、野菜飲料、調理商品の拡大によって「気軽に・おいしく・日常的に」野菜を摂れる選択肢を提供するだけではありません。野菜摂取を「見える化」する独自のソリューション「ベジチェック®」を開発し、自治体・企業・医療機関・学校などに広く展開しています。「ベジチェック®」は、手のひらをかざすだけで皮膚のカロテノイド量を測定し、野菜摂取レベルを推定できる機器です。誰もが簡単に数値で「自分の野菜摂取状況」を知ることができるようになり、生活改善や食育、健康経営の現場で幅広く活用されています。カゴメは、商品づくりにとどまらず、野菜の力を科学的に確かめながら、「野菜をとりやすくする工夫」を社会に広げることで、人々の健康を支える会社として、野菜摂取不足という健康課題に向き合っています。



◀手のひらで野菜摂取量を推定できる「ベジチェック®」

## 農業とともに

カゴメのバリューチェーンは、自社だけの利潤追求ではなく、「農家」「地域」「消費者」を含めた「共存利益（共助）」を前提としています。

契約栽培や自社種苗開発、栽培技術の提供といった取り組みを通じて、農家の収益安定や持続可能な農業を支援し、安定した原料調達を確保することで、消費者に安心・安全で高品質な野菜製品を届けています。こうした好循環により、すべてのステークホルダーが利益を享受できる、サステナブルなビジネスモデルを実現しています。

気候変動や世界的な食料需給の変化といった新たな課題に直面するなか、カゴメは「農業とともに生きる会社として」その使命を一層強め、種苗開発、環境適応型農業技術、国際展開などを通じて、未来に続く農と食の循環づくりに貢献しています。



◀大型菜園では、トマトの状態に合わせて最適な栽培環境をコンピュータで自動制御しています。

## 鎌倉投信の視点

鎌倉投信では「共生」のテーマでカゴメに投資しました。カゴメは、畑と食卓をつなぎ、野菜を通じて健康と笑顔を届けることを大切にしています。日常的に野菜を摂りやすくするための取組みや商品提供は、生活習慣の改善や健康維持、健康寿命の延伸に寄与すると期待されます。さらに、農家や地域、消費者と一体となって価値を生み出す姿勢は、社会全体の豊かさと持続可能な循環を支える「共生」の実践として、鎌倉投信では評価しています。



### カゴメ株式会社（愛知県）

調味食品、保存食品、飲料、その他の食品の製造・販売、種苗、青果物の仕入れ・生産・販売、健康サポートサービスの開発・販売。  
1949年設立。愛知県名古屋市。東証プライム上場。

# 「取材の ひとコマ」

「いい会社」のらしさ探求

## 「本気で混ぜる」

前田工織株式会社

ふとした空間や風景のなかに、その会社の「らしさ」が表れることがあります。今回は、2月下旬に訪問した前田工織福井本社でのひとコマから、「いい会社」のらしさを紹介します。



道路の片隅に雪が残る2月下旬、投資先である前田工織の福井本社にお邪魔しました。取材を終えた後、前田征利会長の案内で、オープンを目前に控え内装工事中的の新施設「PALETTE(パレット)」を見学する機会をいただきました。

「PALETTE」は、福井本社1階フロアをリニューアルし、グループ社員の交流の場として2026年4月1日にオープン予定(執筆時点)の空間です。

前田工織は、M&Aにより様々なモノづくり企業を仲間を迎えながら成長してきました。それぞれが異なる歴史や文化を持つ企業の集合体です。同社はそれを単なるグループ化にとどめず、「人と技術を混ぜる」ことで新たな価値を生み出す企業グループであろうとしています。その思想を体現するのが、この「PALETTE」です。

ぱっと見ただけでも500坪を超えるであろう広大なフロア。エントランスからまっすぐに伸びる通路。

エントランスに入っすぐの右手には、和の空間。得度して僧籍を持つ前田尚宏社長の意向が感じられる、座禅ができる間がありました。ここで「無」にリセットし、混ぜる準備をするのでしょうか。

通路の右側には、「どれだけ混ぜるんだ？」と思うほどの大きささまざまな会議室の数々。グループの垣根を越えた対話を促し、意図的に偶然を生み出そうとしている設計に感じられました。

そして通路の左側は、健康に配慮した食事を提供する社員食堂スペース。自然に人が集まり、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚が刺激され、言葉が交わる場がありました。

通路の突き当りのホール。そこには「なんということでしょう」と思わず声が出るような白山連峰のパノラマビューが広がっていました。さらに、鉄道ファンにはたまらない、白山連峰を背景に北陸本線の列車が目と鼻の先を走り抜ける風景がありました。

「静」と「動」、「自然」と「造化」。さまざまな要素が混ざり合う印象的な空間でした。

この空間は単なる福利厚生施設ではありません。社員同士が新たな発想を出し合うミーティングスペースであり、個性と個性が交わることで新しい色を生み出す場所です。

企業文化を「統一」するのではなく、「混ぜる」。そのために物理的な空間まで本気でつくり込む。

前田工織がM&Aで成長してきた企業でありながら、単なる事業ポートフォリオの拡大に終わらず、「人」「文化」「技術」の融合を重視していることを強く感じました。

前田工織という会社の「らしさ」は、まさにこの「本気で混ぜる」という姿勢にあるのかもしれない。

### 前田工織 株式会社

#### 投資テーマ：共生

土木分野に初めて繊維製品を導入したパイオニア。土木資材を核に、産業用繊維やタイヤホイールなど多様なモノづくり企業をM&Aで統合し、「人と技術を混ぜる」で成長。



筆者  
五十嵐 和人  
資産運用部長

## 中東情勢の緊迫化と「結い 2101」の運用

3月の国内株式市場は、米国とイスラエルによるイラン攻撃を受けた中東情勢の緊迫化を背景に大きく下落しました。特にホルムズ海峡を巡る緊張の高まりを受け、エネルギー供給への懸念が強まり、投資家のリスク回避姿勢が広がりました。

今回の動きは、短期的な株価変動にとどまらず、石油などの資源輸出国が供給制限や価格操作をおこない、輸入国の経済や社会に圧力をかける、いわゆるエネルギーの「武器化」が現実的なリスクとして意識され始めた点に特徴があります。各国・各企業では、原燃料調達を価格重視から供給安定性重視へ見直す動きが進み、調達コストの上昇やコスト構造の変化を通じて、日本企業の利益率に中長期的な影

響を及ぼす可能性も考えられます。

こうした環境下では、付加価値の高い事業構造や顧客との信頼関係を背景に、コスト上昇への対応力を持つ企業の重要性が高まると考えています。「結い 2101」は、こうした変化への対応力も投資先を評価する視点として大切にしてきました。引き続き、事業性と社会性を兼ね備える「いい会社」に着目し、外部要因による株価変動に左右されず、企業価値を丁寧に見極めつつ長期的な視点での運用を継続していきます。足元の運用状況と今後の運用方針については、別紙の「[臨時レポート](#)」(2026年4月3日付)をご確認ください。

(資産運用部長 五十嵐和人)

## 「結い 2101」運用報告 資産形成

### 2026年3月の日本株式市場

※1 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) ※2 東証株価指数 (TOPIX) Small (配当込み)

3月の日本株市場は大幅に下落しました。上旬は、米国とイスラエルによるイランへの攻撃を受けて、中東情勢が急速に緊迫化し、ホルムズ海峡を巡る供給不安から、原油価格が急騰しました。資源価格の上昇による企業業績への悪影響や、円安進行によるインフレ圧力の高まりも意識され、投資家のリスク回避姿勢が強まり、日本株は月を通じて軟調な展開となりました。月中には、石油備蓄の協調放出や、米国による停戦協議観測を背景に、株式市場が一時的に持ち直す場面もありました。しかし、情勢の不透明感やエネルギー供給への懸念は払しょくされず、月末にかけても不安定な推移となりました。配当込み TOPIX※1 は前月末比で10.3%、配当込み TOPIX Small※2 は同10.2%それぞれ下落しました。業種別では、鉱業、海運業が上昇した一方、空運業、ゴム製品、機械などが下落しました。

### 2026年3月の「結い 2101」

「結い 2101」の3月末の基準価額は前月末比で7.4%下落し、24,326円となりました。保有契約件数の増加基調が好感された「アニコムホールディングス」や、原油の供給懸念を背景に再資源化事業への期待が高まった「アマタホールディングス」などが上昇しました。一方で、米国の半導体関連株が軟調に推移した影響もあり、「平田機工」や「東京応化工業」などが下落しました。3月末時点の投資先数は、新規に1社の株式に投資したことにより前月末から1社増えて、72社となりました(開示基準に達していない投資先は1社)。債券については、トビムシの既発債が満期償還を迎えたことにあわせて、新発債を引き受けました。3月末時点の株式組入比率は、投資先企業の株価下落により前月末から低下し、82.1%となりました。債券組入比率は、株価下落にともなう純資産総額の減少により前月末から若干上昇し、1.7%となりました。



野田 圭祐

資産運用部

ファンドマネージャー

信託銀行で個人資産コンサルティング業務や、日系運用会社で債券のファンドマネージャーとして資産運用業務に携わる。2022年6月に鎌倉投信に入社。東京生まれ、埼玉育ち。

# 「結い 2101」運用状況（月次） 基準日：2026年3月末日

## 運用方針

## 概況

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

基準価額  
24,326円

これからの日本に必要とされる企業

顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切に、持続的で豊かな社会を醸成できる企業

純資産総額  
49,999百万円

このような企業を投資先の「いい会社」として選定するため、次のように「人・共生・匠」というテーマで評価しています。

顧客数  
22,155人

うち「積立購入」を選択されている顧客数10,928人



優れた企業文化を持ち、人財を活かす企業



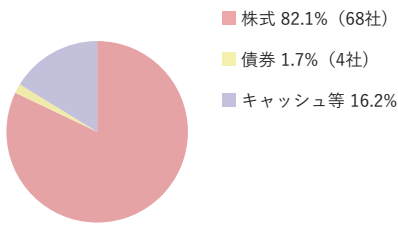
循環型社会を創る企業



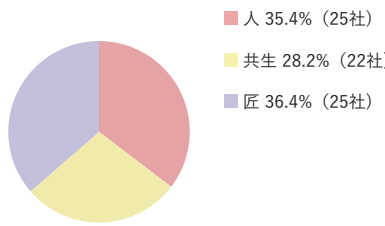
日本の匠な技術、感動的なサービスを提供する企業

## 信託財産の状況（比率は時価ベース）

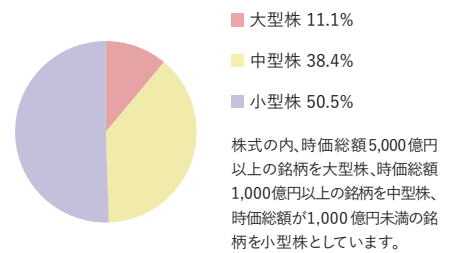
### ポートフォリオの資産構成比



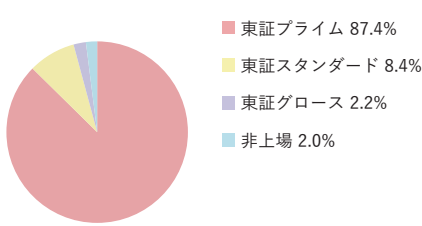
### 投資先のテーマ別構成比



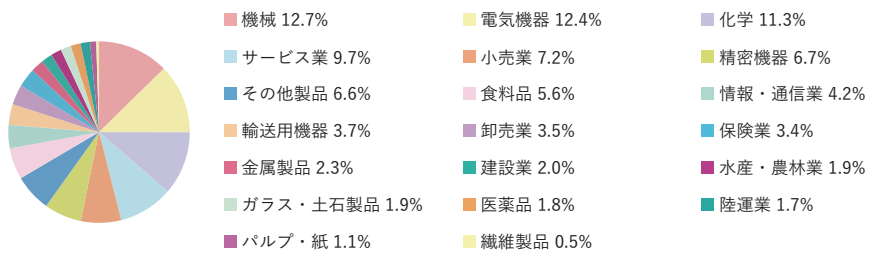
### 株式の規模別構成比



### 有価証券の市場別構成比



### 投資先の業種別構成比



開示基準に達した新規投資銘柄の開示 当月は、開示可能な組入れ比率に達した投資先はありません。

## 組入上位10銘柄

コード	会社名	テーマ	純資産総額比	鎌倉信投の視点
8715	アニコムホールディングス	人	1.8%	理念を大切にしている、いい会社
7716	ナカニシ	匠	1.8%	技術を大切にしている、いい会社
4967	小林製薬	人	1.7%	モチベーションが高く、発想力が具現化する、いい会社
1414	ショーボンドホールディングス	共生	1.7%	社会インフラの未来を創る、いい会社
6866	日置電機	共生	1.7%	電気計測技術で電動化社会の安心と発展を支える、いい会社
6785	鈴木	匠	1.6%	「精密金型技術」で最先端のモノづくりを支える、いい会社
7730	マニー	匠	1.6%	やらないことを明確にしている、いい会社
4658	日本空調サービス	人	1.6%	特殊空調でニッチな企業を目指す、いい会社
9336	大栄環境	共生	1.6%	環境創造企業として進化を続ける、いい会社
6005	三浦工業	共生	1.6%	熱・水・環境の分野で産業活動を支える、いい会社

## 収益分配金の実績

第4期	2013年7月19日	500円
第14期	2023年7月19日	0円
第15期	2024年7月19日	0円
第16期	2025年7月22日	0円
		設定来合計 500円

- ✓ 分配金額は1万円あたりの金額です。
- ✓ 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。
- ✓ 「結い 2101」は分配金相当額を自動的に分配後の基準価額で再投資する分配再投資専用の投資信託です。

## 運用目標

### リターン目標 (信託報酬控除後)

長期的に投資先企業の業績成長に  
見合ったリターンの獲得を目指す

参考情報

**投資先企業の業績成長率**  
年率 4.6% ~ 6.9%

### リスク目標

国内株式市場よりも基準価額の変動リスクを  
抑制し、下落時の不安を軽減する運用を目指す

- ✓ 運用目標は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。
- ✓ 2010年3月29日から2025年4月30日までは、リターン(信託報酬控除後)4%以上・リスク10%以内を目標としていました。
- ✓ 「投資先企業の業績成長率」とは、投資先の上場企業全体のファンド保有分に対する会計上の純資産および配当の合計額の1年間の増加率(増資は除く)の過去5年月度移動平均のうち、過去5年間における最大値及び最小値から信託報酬率を考慮してそのレンジを示しています。

## 運用パフォーマンス

### 基準価額の推移



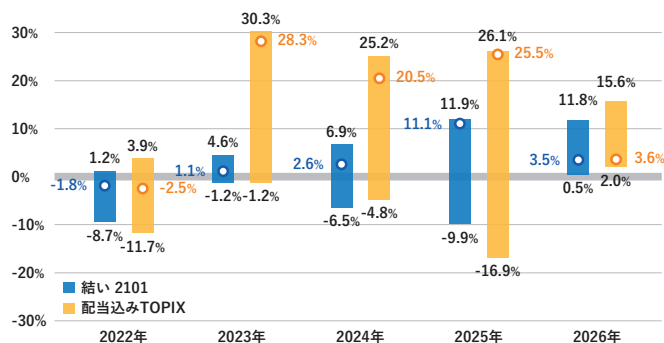
- ✓ 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い 2101」の信託報酬率1.10%(年率・税込)を控除後のものです。
- ✓ 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- ✓ 「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった(=収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した)ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

### 運用成績

	設定来	10年	5年	3年	1年	1ヵ月
リターン (累積)	152.1%	54.6%	12.1%	17.0%	16.6%	-7.4%
	設定来	10年	5年	3年		
リターン (年率)	5.9%	4.5%	2.3%	5.4%		
リスク (年率)	8.7%	8.4%	7.9%	8.2%		
リターン÷リスク	0.69	0.53	0.29	0.65		

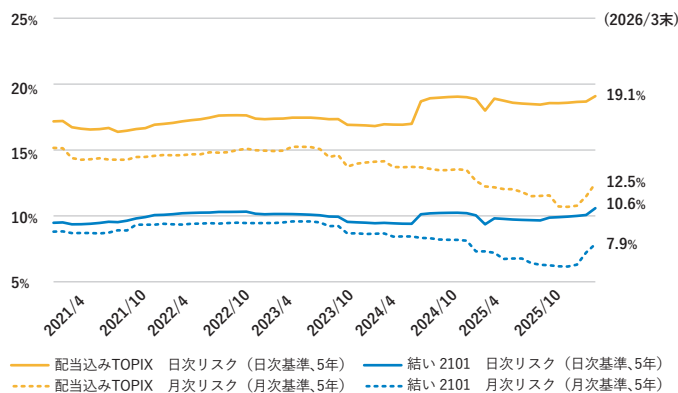
- ✓ リターン・リスクは、支払済み収益分配金(税引前)を再投資した場合の分配金込の数値です。お客様毎の実際の運用成績とは異なります。
- ✓ リターン(年率)とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の収益率を年率換算で表示したものです。
- ✓ リスク(年率)とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。
- ✓ 「リターン÷リスク」は、運用の効率性を測る指標として表示しています。

### 各年の収益率



- ✓ 「結い 2101」は特定の市場指数をベンチマークとした運用ではありませんが、「結い 2101」と国内株式市場の値動きやその変動幅の違いなどをご理解いただくため、参考として配当込みTOPIX(以下; TOPIX)の収益率を掲載しています。
- ✓ 青色の棒グラフは、各年内の収益分配金込基準価額の最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
- ✓ 黄色の棒グラフは、各年内のTOPIXの最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

### 実績リスク(年率)の推移



- ✓ リスクは、収益率のブレの大きさを示した指標であり、標準偏差によって計測されています。標準偏差が大きいほど、収益率のブレ幅が大きい(リスクが高い)ことを意味します。
- ✓ 日次リスク、月次リスクは過去5年間の日次収益率、月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。日次リスクと月次リスクの値は乖離することがあります。
- ✓ 「実績リスクの推移」および「各年の収益率」に関する詳しい説明は、結いだより187号(2025年10月発行)をご確認ください。

# 「結い 2101」運用報告会のご案内

(2026年春期)

「結い 2101」運用報告会を、5月～6月に全国5都市とオンラインで開催します。運用報告会では、半期に一度、受益者とご家族の皆様に向けて、鎌倉投信の投資哲学や最新の運用状況、投資先の「いい会社」の近況等をわかりやすくご報告します。会場開催の日程では、自由参加の交流会も実施予定です。運用者と直接お話いただけることに加えて、受益者同士が思いや考えを共有できる貴重な機会です。「結い 2101」が大切にしている一貫した投資姿勢や、投資先の「いい会社」の歩みが、どのように心豊かな社会づくりに繋がっていくのか、皆様との対話を通して確かめる時間になればと思います。ぜひご参加ください。

**5月16日(土)** ※午前と午後の運用報告は同じ内容です。  
**10:30～12:30/13:30～15:30(交流会15:30～16:30)**  
会場：鎌倉投信本社(鎌倉市)

午前に参加の方も午後の交流会に参加いただけます。  
申込フォームの連絡事項欄に参加希望と記載ください。

**5月30日(土)**  
**13:00～15:00(交流会15:00～16:00)**  
会場：FinGATE KAYABA(中央区日本橋)

**6月6日(土)**  
**13:00～15:00(交流会15:00～16:00)**  
会場：ウインクあいち 特別会議室1307(名古屋)

**6月14日(日)**  
**13:00～15:00(交流会15:00～16:00)**  
会場：電気ビル共創館(福岡市)

**6月20日(土)**  
**13:00～15:00(交流会15:00～16:00)**  
会場：ドーンセンター(大阪市)

**6月27日(土)**  
**10:30～12:00**  
会場：Zoom ウェビナー  
(交流会は自由参加です)



## 鎌倉投信に口座をお持ちのお客様

申込方法

- ・ホームページ「セミナー・イベント」より [こちら](#)、
- ・お電話でお申込 050-3536-3300(営業時間：平日10時～16時)



## 楽天証券で「結い 2101」をご購入のお客様

楽天証券で「結い 2101」を購入している方向けのコミュニケーションサイト「結いの窓」から受益者登録の上、専用のイベントページから申込ください。※URLが分からない方は、鎌倉投信へお問合せください。

## 直販口座向け 「My 鎌倉倶楽部」のご案内

受益者専用サイト

My 鎌倉倶楽部では、残高照会や各種手続きができます。また、受益者総会や運用報告会など、イベントの限定動画の視聴も！登録は鎌倉投信ホームページからお願いします。

## 直販口座「積立サービス」取引スケジュール

金額変更・中止締切日※1 引落日※2 入金日※3 約定日※4 受渡日※5  
**4月10日 4月27日 5月8日 5月11日 5月12日**

- ※1 毎月10日(休日の場合は前営業日)：この日に受付した分までが当月引落より適用されます。締切日を過ぎますと、当月の引落および引落資金での投資信託購入がおこなわれます。解約(換金)を希望される方は、受渡日以後に残高の解約(換金)をしてください。
- ※2 毎月27日(休日の場合は翌営業日)：お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引き落とします。
- ※3 引落日の5営業日後：収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。
- ※4 引落日の6営業日後：この日の基準価格で購入します。
- ※5 引落日の7営業日後：この日に取引報告書を交付します。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用資料ではありません。

<資産運用に関する注意事項>投資信託のお申し込みに際しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

- ◆投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い 2101」を証券会社を通じて購入していない場合は、投資者保護基金の保護対象でもありません。
- ◆投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ◆「結い2101」は、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当投資信託の基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て「結い 2101」の投資者(受益者)の皆さまに帰属します。したがって、投資者(受益者)の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ◆「結い 2101」は信託財産留保額はありませぬ。運用管理費用(信託報酬)は、純資産総額に対して1.1%(税込・年)です。購入時手数料やその他費用の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をお読みください。
- ◆本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ◆本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。
- ◆「結い 2101」のご購入は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご理解いただいた上、ご自身でご判断ください。ご不明な点は販売会社にお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(連絡先：0120-64-5005)を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社：金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号  
加入協会：一般社団法人 資産運用業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会